

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号：8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2011年9月9日

日本格付研究所による当社格付けに関するお知らせ（長期A+・見通し「安定的」を維持）
 ～ ネット証券最上位の格付け。短期もJ-1を維持 ～

[株式会社日本格付研究所](#)（「以下、JCR」）による当社格付けが見直しされ、本日付けで長期A+（安定的）、短期J-1の据え置きとなったことをご知らせいたします。当社長期格付けは、2007年6月29日の格上げ以降A+を維持しており、また見通しも「安定的」で据え置かれました。当社の格付けはネット証券・FX会社の中では最上位、また大手対面証券会社と比較してもほぼ遜色のないレベルとなっております。

1. 格付けの内容（括弧内は見通し）：

対象格付け	今回（2011年9月9日付）	前回（2010年9月13日付）
長期優先債務格付け	A+（安定的）	A+（安定的）
短期優先債務格付け	J-1	J-1

2. 格付機関：株式会社日本格付研究所

3. 格付日：2011年9月9日

当社の格付けは、親会社である三菱UFJフィナンシャル・グループとの諸方面による結びつき、システム内製化等による収益性の高さ、および良好な財務体質が評価されました。また11/3期は東日本大震災発生後の相場急変により多額の立替金が発生し、特別損失を計上致しましたが、今回の立替金の発生を受け、必要証拠金の見直し等により、今後、多額の立替金が発生する可能性は小さくなったとの評価もあり、従来の格付けは据え置きとなりました。当社は引き続き、強固な財務基盤の確立に努めてまいります。

さらに当社は、高い格付けを裏づけとした財務力を活かして、信用建玉残高または新規建て約定金額の合計額が[6,000万円以上の場合には無料とする信用取引手数料体系](#)、[取扱銘柄数業界一となる一般信用売建てサービス](#)、[業界最高水準の料率による貸株サービス](#)などを提供しております。

また、取扱い準備中の債券を始めとした各種アセット型商品においても高財務力を基にした品揃え拡充により比較優位性の高いサービスを提供できるものと考えております。

今後も、当社ならではの財務力を活かしたサービスをお客さまに提供していく所存です。

なお格付けの理由等の詳細に関しましては、JCRより本日公表されております[ニュースリリース](#)をご参照ください。

（参考）

JCRならびに株式会社投資情報センター（R&I）（※1）による個人向けサービスを主要業

	格付機関	
	JCR	R&I
↑ 高 格 付	AA	三菱UFJ銀行・スタンレー証券（安定的） 野村証券（安定的）
	AA-	SMBC日興証券（ポジティブ） みずほインバスターズ証券（安定的）
	A+	カブドットコム証券（安定的） 大和証券（安定的）
	A	野村証券（安定的） 三菱UFJ銀行・スタンレー証券（ポジティブ） SMBC日興証券（ポジティブ） みずほインバスターズ証券（安定的）
	A-	大和証券（安定的）
	BBB+	松井証券（安定的） SBI証券（安定的） 新生証券（ネガティブ）
	BBB	マネックス証券（ネガティブ） 岡三証券（安定的） 東海東京証券（安定的） セントラル短資FX（安定的）
	BBB-	楽天証券（安定的） 極東証券（安定的）
	格付	

（2011年9月9日現在の公表資料から当社抜粋）

※1：JCR、R&Iにおいては、発行体（企業）からの依頼がない限り、格付けの付与をおこないません。

※2：長期債務格付けは、1年を超える優先債務の履行確実性についての格付機関の意見であり、確実性の高いと思われるものから順に、AAA>AA>A>BBB>BB>B>CCC>CC>Cという格付種類があります。AA以下の格付については、同一等級内での相対的位置として[+]または[-]の符号が記されます。例えば、A格の中では債務履行確実性の高い順に、A+（シングルAプラス）>A（シングルAフラット）>A-（シングルAマイナス）となります。なお、債券やローンなどの個別債務の格付けは個々の債務の内容により債務者に対する包括的な格付けと異なることがあります。